

具体的には、入院期間が長期になりがちな高齢者のニーズに応え、「長期入院が可能な」病院作りを行います。

日常生活能力の低下など高齢者特有の事情に配慮して、長期入院向けのベッドをある程度確保した上で、良質な在宅医療を提供するのが現実的な解決方法だと考えています。在宅医療を外来や入院と一体的に運営してまいりたいと考えています。

この際、訪問看護ステーションとの連携が鍵となりますが、新病院竣工の暁には病院内部に訪問看護ステーションを設ける予定です。

在宅透析や腹膜透析、人工呼吸器の管理など、従来は在宅での展開が不十分であった分野に対しても、こうした枠組みの中で積極的に進めてまいりたいと思います。

既に在宅医療事業部の「総合相談窓口」の出張所を設けておりますので、今後在宅医療や介護の相談をご希望の方には併せてご利用いただけます。

以上、偕行会城西病院の現状と今後についてご説明申し上げました。偕行会城西病院はまだまだ再出発を果たしたばかりです。今後この病院が発展していくかどうかは、もちろん私ども病院職員の努力にかかっています。しかし一方で、皆様のご支援に期待するところも大です。

どうかこれからも偕行会、名古屋共立病院共々、城西病院をよろしくお願ひ申し上げます。

